



事例ノート CASE1 株式会社 オカモトガーデン様



【エクステリア全景】
左側に少し見える塀は既存のまま、門まわりとカースペースをリフォーム。門扉も既存。古い部分と新しい部分が違和感なく調和。

【門まわりとM.シェード】
リフォームして新しくなった門まわりは、ガラスを使った洗練されたデザインに。M.シェードとガラスのシャープな印象を曲線が和らげています。

M.シェードやガラスに曲線を組み合わせるとやさしい印象に N様邸

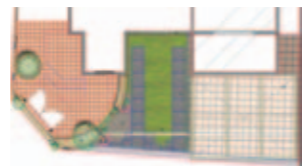
庭や塀はそのまま門まわりとカーポートだけをリフォーム。施主様はカーポートにM.シェード、門柱にガラスをご希望。それらの硬質で冷たい質感と、既存の門扉や建物の重厚感をいかに調和させるかがポイントでした。そこで塀にアールをつけ、丸型ガラスをはめ込むことで、全体を柔らかくやさしいイメージに。さまざまな要素が違和感なくまとまりました。



岡本様・北條様と、取材に同行した関西EX支店大阪営業部・田辺、乗本。



【M.シェードのカースペース】
駐車スペースにはM.シェードを設置。片方の梁を延ばしたので、邪魔な柱もなく、スペースを広く使えるし車の出し入れもスムーズに。明るさと開放感も好評です。



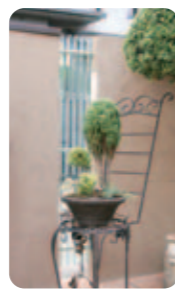
【M.シェードの夜景】
昼とは違う表情を見せるM.シェード。壁に設置したアップライトが、トラスの繊細な陰影を映し出しています。



【ガラスの陰影を演出】
門柱の笠木の裏についたLED照明と、足元のアップライトで夜の演出を。ガラスに彫られた模様が美しく浮かび上がり、幻想的なファサードに。



【アールのついた塀】
駐車場とアプローチを曲線の塀で柔らかく仕切りつつ、丸型ガラスブロックやスリットで閉鎖的にならないように工夫。塀の足元の花壇は、野草が自然に生えたようなイメージに演出。



【ガラスのスリット】
塀の要所要所に設けられたガラスのスリット。プライバシーは守りつつも向こう側の気配がわかり、庭に開放感をもたらします。



【床タイルの心遣い】
アプローチは既存のタイルを生かし、手前のステップ部分だけ新しいタイルを使用。違和感なくつなげるのに苦労したそうですが、予算をできるだけ抑える心遣い。

事例ノート CASE2

福井県 福井市
有限会社 シャレス様

品質や仕上げにこだわるていねいな仕事が身上 ハウスメーカー主体の現状から 展示場をつかってエンドユーザー様へ転換を



代表取締役
高本 茂樹様

以前はゴルフ場の管理会社に勤務していたんですが、そのときベテランの造園職人に仕事がきれいだと言われて、本格的にガーデニングを志願。キャドを独学し、8年前に創業しました。

もともと祖父が造園をやっていたこともあって、この業界の専門用語もほとんど知らなかったのに、職人の世界にはすんなり入れました。

当初は、前会社のころからつきあいのあったハウスメーカー1本でした。それから徐々にHPや口コミでエンドユーザー様が少しずつ増えてきて、現在はハウスメーカー等7：エンドユーザー3ぐらいの比率です。今後はこの数字を逆転させたいですね。やはりエンドユーザー様が相手のほうが自由な提案ができますので。

そのために現在、展示場づくりを進めています。今は自宅を事務所代わりにしていますが、近くに100坪の敷地を確保し、仕事の合間に少しずつ施工しています。仕事が忙しくてまだ2割程度しか仕上がっていませんが、それでもログハウスの事務所だけは10月中頃にオープンできそうです。スタッフは7名。職人が5名に、営業兼プランナーの私と、経理兼プランナーの妻です。

デザインで重視するのは“建物とのバランス”と“お客様の生活スタイル”です。建物あつての外構だと思ったり、日々のライフスタイルの中で心地よいデザインは流行に左右されず飽きがこないと思います。緑はできる限りふんだんに入れ、とくにメインツリーを必ず1本植えるようにしています。

また、素材や仕上げのクオリティにはこだわります。品質のいいものを提案したいので、メーカーの工場見学はできるだけ行きますし、表札やポストなどのディテールも必ず実物を見て決めています。

今後は、まず展示場を一刻も早く完成させ、HPもリニューアルして、一般のお客様にもっと認知していただけるようにしたいですね。そして、これからはていねいな仕事で、本当にいいものを提案していきたいです。きれいな仕事は後々まで残りますから。



自宅兼事務所。枕木や塗り塀、草花の生い茂る小径など、ナチュラル感覚のエクステリアが訪れるお客様にも好評。カーポートはG1ですっきりと。



新事務所はもうすぐ完成へ



コツコツと手づくりしている本格ログハウスの事務所は、秋に完成予定。100坪の展示場は現在2割ほど。早期完成をめざし、仕事の合間に少しずつ工事しています。



製図を学び、今は現場にも主婦の視点でキメ細かい提案を

エクステリアは全くの素人で、ゼロからのスタートでした。3年前から製図を勉強し、去年からは現場にも出て経験を積んでいます。子どもがまだ小さく両立は大変ですが、主婦の視点を生かして、奥様に共感・納得していただける提案をしていきたいですね。

取締役・高本美夏子様

